



私たちは、これからの未来を拓く若者たちに「科学するところ」を持ってほしいと考えています。そのためには年少期から科学的な探究の面白さを実感し、創造性、チャレンジ精神を育むことが極めて重要です。

そこで、私たち東北大学、東北学院大学、東北工業大学、宮城教育大学、日本工業大学、仙台高専の電気・情報系教職員の有志は、「たのしい科学企画委員会」を組織し、財団法人国際コミュニケーション基金（現 公益財団法人 KDDI 財団）の協賛を得て、中学生を対象にした「たのしいサイエンス・サマースクール」を1994年から20年以上にわたり開催してまいりました。

本年も、「光とエレクトロニクス」と題して、光と電波を用いた通信やロボットの制御などのおもしろい実験を多数準備しています。この企画に関心のある中学生の応募を期待しております。

なお、施設等の制約から、希望者が多数の場合には、作文等を参考にして参加者を選考させていただきますのでご了承下さい。また、この企画に興味をお持ちの先生方の参観も歓迎いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

開催日： 2016年8月2日（火）～8月4日（木）

開催場所： 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-04  
東北大学創造工学センター「発明工房」

アクセス情報： 仙台市営地下鉄「青葉山」駅下車 徒歩 10分  
(仙台駅からの乗車時間約9分、運賃250円)  
<http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/access.html>  
<http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=d&build=02>

募集対象者： 電子工作などに興味・意欲のある中学生 約40名  
(上記会場に3日間通えること)

参加費用： 無料(3日間とも昼食のお弁当が出ます)

申込方法： 別紙参加申込書に必要事項を記入し、下記宛にご郵送ください。

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05  
東北大学工学部 電気情報物理工学科  
船水 和義(たのしい科学企画委員会副幹事)  
電話: 022-795-7201  
ファックス: 022-263-9441  
電子メール: sss2016@ecei.tohoku.ac.jp

**申込締切： 2016年6月30日（木）**

♣ 実施内容： 次のグループごとに実験を行います

ー光とエレクトロニクスー 「光とロボットで遊ぼう」	
1. 光で制御しよう	(光の信号でロボットを制御する実験)
2. 光で空中に絵を描こう	(光の点滅と混合を利用する実験)
3. 目をもつロボットを作ろう	(光センサを用いたライントレーサの実験)
4. 電波の発信源を探そう	(アンテナを使った電波の実験)
5. ロボット開発に挑戦しよう！	(プログラムでロボットを動かす実験)
6. 光で音楽を送ろう	(LEDを使った光通信の実験)

※グループ編成は企画委員会にご一任ください

♣ 日程 (予定) :

8月2日(火)	~09:50 10:00~11:30 11:30~12:20 12:20~13:00 13:00~16:30	東北大学「発明工房」ロビーに集合 開校式, オリエンテーション グループ別実験説明 昼食, 休憩 グループ別試作実験
8月3日(水)	09:30~12:00 12:00~12:40 12:40~14:00 14:00~16:30	グループ別試作実験 昼食, 休憩 大学内見学 グループ別試作実験/発表会準備
8月4日(木)	09:30~12:00 12:00~13:00 13:00~15:30 15:40~16:10	発表会準備 昼食, 休憩 成果発表会 閉校式・解散

※正確な時間は参加者決定後に改めてご連絡します

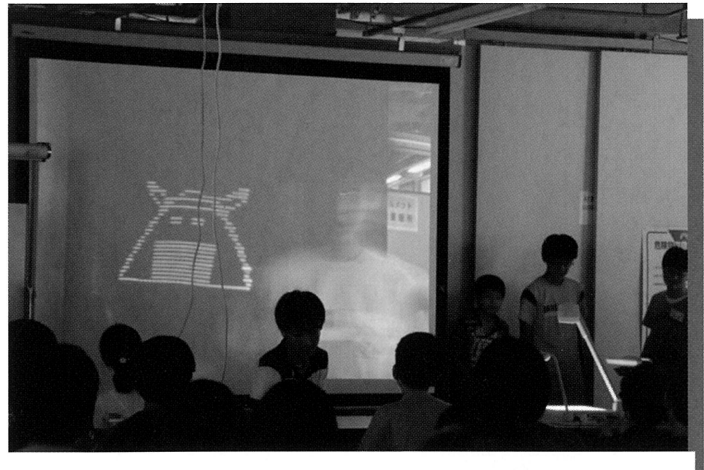
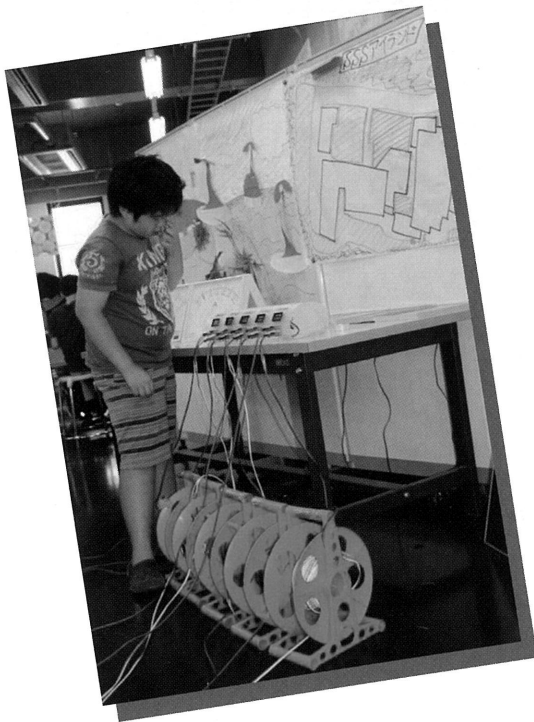
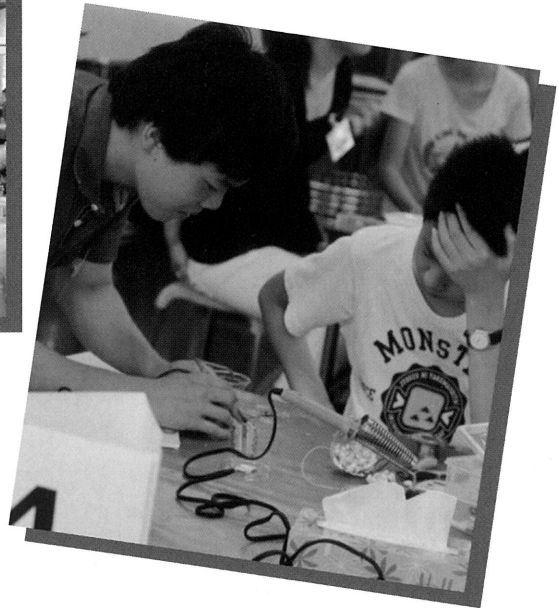
♣ 問い合わせ先:

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05  
東北大学工学部 電気情報物理工学科  
石鍋 隆宏 (たのしい科学企画委員会幹事)  
電話: 022-795-7119  
電子メール: sss2016@ecei.tohoku.ac.jp

♣ ホームページアドレス:

<http://www.ecei.tohoku.ac.jp/sss/>  
(参加申込書はホームページからダウンロードすることもできます。)

✿ 前回の様子 ✿



宮城 社会

### 科学する心、実験で磨く サマースクール

実験を通して中学生に科学の楽しさを伝える「たのしいサイエンス・サマースクール」が5～7日、仙台市青葉区の東北大青葉山キャンパスであり、県内の中学生31人が参加した。

「光とエレクトロニクス」をテーマに、中学生が6班に分かれて工作や実験に取り組んだ。電波の仕組みを学ぶ実験では、紙コップとアルミホイルなど日用品を使って受信機を製作。発生器から電波を飛ばすと受信機の発光ダイオード（LED）が点灯し、電波の流れを確認できる。

昨年に続いて参加した富谷町東向陽台中2年の釜谷瑠海音（るみね）さん（14）は「学校では普段できないことを学べて、とても楽しい」と笑顔で話した。

サマースクールは東北大など大学、高専の教員、KDDIでつくる「たのしい科学企画委員会」の主催で22回目。



実験用の器具を作る中学生  
拡大写真

2015年08月15日 土曜日